

ELGOLAZO

号 外
特 別 版

EG the Football Journal

INTERVIEW
谷 晃生

守護神が語る ACLエリート

チケット
好評発売中

チケット情報はこちら



FC町田
ゼルビア



AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE™

LEAGUE STAGE MATCH DAY 6

2025.12.9 (Tue)

19:00 KICK OFF 町田市立陸上競技場



蔚山HD
(韓国)

Jリーグとは違った難しさ

——開幕前に「楽しみ」と話されていたクラブレベルでのアジアの公式大会に出場してみて感じていることは。

「リーグ戦や天皇杯を戦いながらACLエリートでも結果を残さなければいけないという楽しさもありつつ、その難しさも感じています。個人的には年代別代表や育成年代で経験してきたことではありますが、クラブチームとしては初めての経験であるアウェイ遠征でのコンディション作りや、独特なピッチ、スタジアムの雰囲気も含めて、Jリーグとは違った難しさも実感しています」

——やりがいはいかがでしょう。

「どのクラブも出られるわけではないですし、昨季の結果があってこそACLエリート参戦です。この先、準々決勝からのサウジ（サウジアラビア）での集中開催や世界につながっていくことにもやりがいを感じています」

——JリーグとACLエリートの違いについては、どのように感じていますか。

「Jリーグのチームのほうが上回る要素はたくさんありますが、やはり外国籍選手ならではの球際の強さや強度は全然違います」

——JリーグとACLエリートのボールの感触の違いを強調する選手もいます。GKの立場ではどうですか。

「Jリーグのボールと比べての変化は気になりますが、大会の一部として捉えています。ボールが少し重かったり、不規則な回転をしたり、読みづらい軌道で飛んできることがあります。また、自分たちが思っている以上に途中で落ちるなど、そういった変化は感じています」

頼もしい町田サポーター

——11月12日の取材時点で第4節までを消化し、戦績は1勝2分1敗です。

「2分の試合も1敗の試合も自分たちのほうが

ボールを握り、チャンスを作れていたと思います。ただリーグ戦も含めて、勝ち切れていないことがもどかしいです。決定力が足りないという言葉で片付けるのは簡単ですが、チャンスを決め切る部分は個人のスキルによりますし、それはあくまでも結果論なので、決定機の形を増やしていくことが必要だと思います」

——過去4試合をそれぞれ簡単に振り返ってください。

「初戦のFCソウル戦（1△1）に関しては、いま振り返ると、少しチームとして硬くなってしまい、相手をリスペクトし過ぎてしまったことがよくなかったと思っています。相手にちょっと合わせる形になってしまった印象です。もっと自分たちのプレーができたと思います」

——第2節のジョホール・ダルル・タクジム戦（0△0）は初のアウェイゲームでした。

「リーグステージのアウェイゲームの中でも一番移動が大変で、相手は外国籍選手が多く出

場していたため、強度も高かったです。特に最終ラインの選手は身長が高く、体も強い選手が多かったので、シンプルなクロスではね返されてしまいました。相手も決してチャンスが多かったわけではないですが、無失点でうまくしのがれてしまった印象です」

——第3節の上海海港戦（2●0）については。

「主力のブラジル人選手が3人ほど出ていなかった影響かもしれませんが、早い時間帯にリードを奪うことができ、追加点も決められました。3点目を取れていれば、もっとラクにゲームを進められたかもしれません」

——第4節のメルボルン・シティ戦（1○2）は悔しい初黒星でした。

「試合開始早々のアクシデントによる失点があったとしても決してそれを言い訳にはできないですし、勝たなければいけない試合だったと思います。終盤の失点に関しては、ほかの試合でも似たような時間帯での失点をしています。勝負際を

見極めることや、もっと状況に適したプレーを選択することは、いまのチームに必要なことだと思っています」

——谷選手は町田在籍2年目です。町田サポーターはどんな存在ですか。

「年々サポーターの数が増えている印象を受けています。ACLエリートのアウェイゲームにもツアーなどに参加して、たくさんの方々がきてくれているとウォーミングアップのときに実感しています。アウェイで一緒に戦ってくださることを頼もしく感じています。在籍2年目の僕は町田の『ま』の字も知らないぐらいですが、選手が変わりながらも根強く町田を応援してくださっている方々がいることもとてもありがたいです。そういった方々にはアジアのステージで戦う町田のことを楽しんでいただけているのかなと思います。また、最近ファン・サポーターになった方々にも長く応援していただくために、面白いサッカーを見せて、多くの勝利を届けたいです。一緒に戦っていただけることに感謝しています」

谷 晃生（たに・こうせい）

2000年11月22日生まれ、25歳。
大阪府出身。187cm/84kg。G
大阪JY→G大阪Y→G大阪→湘南
→G大阪→デンデル（ベルギー）を
経て、2024年に期限付き移籍で
町田に加入。今季から完全移籍に
移行した。憧れの選手は元イタリア
代表のGKジャンルイジ・ブッフォン。



谷 晃生

FC町田ゼルビア

GK 1

AFCチャンピオンズリーグエリート（以下ACLエリート）に初参戦している町田。12月9日には今季の公式戦最終戦でもある第6節・蔚山HD戦が行われる。今回、話を聞いたのは不動の守護神・谷晃生。ACLエリートに感じる面白さややりがい、町田のファン・サポーターへの思いなどを語ってもらった。

取材日:11月12日(水) 聞き手:郡司 聡

世界につながる大会。

やりがいを感じている



AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE™



蔚山HD(韓国)

Ulsan HD FC

文・ピッチコミュニケーションズ Photos:©AFC/Getty Images ※情報は11月23日時点

低迷からの脱却を目指す、韓国屈指の名門クラブ

Kリーグ優勝5回、韓国FAカップ優勝1回、AFCチャンピオンズリーグ(以下ACL)優勝2回、クラブW杯出場3回の実績を誇る韓国屈指の名門。ACLには2017年から今大会まで韓国勢最多となる9シーズン連続出場中だ。

国内では2022~2024年にクラブ初のリーグ3連覇を達成したが、今季は夏のクラブW杯を前後に一時公式戦10戦未勝利と深刻な低迷に陥り、8月にキム・パンゴン元監督を成績不振で解任。後任に元インドネシア代表指揮官シン・テヨン氏を招聘したが、公式戦10戦2勝と好転せず、約2カ月で2度目の解任に踏み切り、本職ユースダイレクターのノ・サンレ氏に暫定指揮を託した。蔚山HDにとって町田はACL日本勢12クラブ目の対戦。アウェイで迎える2025年ラストゲームで勝利を目指す。



KEY PLAYERS

DF 19

韓国出身 35歳

キム ヨングォン

かつて昌子とも共闘した
韓国歴代有数のCB

キャプテンを務める左利きセンターバック。日本ではFC東京、大宮、G大阪に在籍し、J1で139試合に出場した。韓国代表でも歴代9位となる通算112試合出場を誇り、W杯3大会を経験した実績は折り紙付き。G大阪時代にセンターバックでコンビを組んだ昌子源との再会にも注目だ。



KIM
Young Gwon

DF 15

韓国出身 31歳

チョン スンヒョン

鳥栖と鹿島でも活躍した
対人に強い大型CB

身長188cm、体重89kgという恵まれた体格を武器に対人で強さを見せる元韓国代表DF。かつて鳥栖や鹿島に所属しJ1通算51試合に出場したが、もともとは蔚山の下部組織出身。今年7月にUAEのアル・ワスルより約1年半ぶりの復帰を果たし、キム・ヨングォンとともに最終ラインを支える。



JUNG
Seung Hyun